

人食いバクテリア 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

感染症発生動向速報

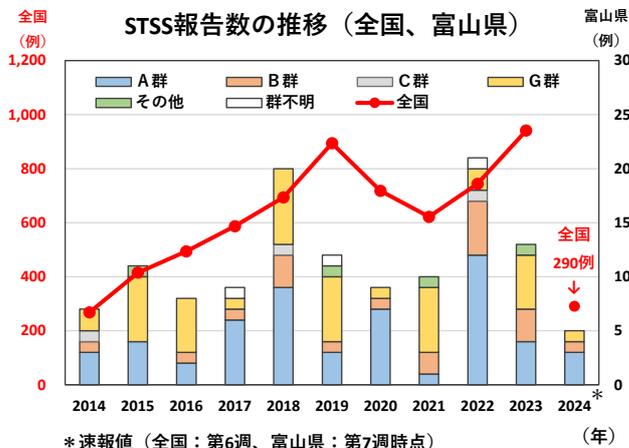
令和6年2月21日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

(令和6年第7週分・2月12日～2月18日)

《インフォメーション》

●劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (Streptococcal toxic shock syndrome; STSS) の全国の報告数は、2019年をピークに2021年まで減少傾向でした。しかしながら、2022年以降再び増加に転じ、2023年は941例の報告がありました (図：折れ線グラフ)。また、今年に入り、第6週時点で既に290例の報告があり、昨年同時期 (110例) の2倍以上のペースで報告されています。2023年7月以降、50歳未満のA群溶血性レンサ球菌によるSTSS患者報告数、届出時点の死亡割合の増加が報告されています ([国立感染症研究所HP](#))。



富山県におけるSTSS患者報告数は、近年、7～21例/年で推移しており、2024年は第7週時点で5例の報告がありました。過去10年 (2014～2023年) の原因菌は、A群溶血性レンサ球菌が42%と最も多く、次いでG群 (34%) が多く分離されています。また、2024年に報告された5例中3例からA群溶血性レンサ球菌が分離されています。(図：棒グラフ)。

STSSは通常無菌的な部位 (血液、筋肉など) に溶血性レンサ球菌が侵入することで引き起こされる感染症です。患者の年齢は40歳以上の成人に多く、60歳以上が70%以上を占めています。小児科定点医療機関で届出されているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、その重症度が大きく異なります。初期症状としては、発熱や悪寒などの症状、四肢の疼痛や腫脹、創部の発赤などが見られます。発病から病状の進行が急激で、軟部組織壊死や多臓器不全等を引き起こします。このような特徴から「人食いバクテリア」とも呼ばれています。また、ショック状態に陥り、致命率は30～50%と高い感染症です。早期診断・早期治療が治癒率を高めます。四肢の創傷部位は清潔に保つことが大切です。創部の発赤や腫脹、痛み、発熱等の所見が見られた場合には、直ちに医療機関を受診しましょう。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 2件 (①80歳代、男性 ②80歳代、女性)
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳代、男性、O157、VT2)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	インフルエンザ	16.00 (↓)	18.35
2位	COVID-19	9.58 (↓)	14.44
3位	感染性胃腸炎	8.17 (↓)	8.76
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.10 (↓)	7.17
5位	咽頭結膜熱	2.38 (↓)	3.00
6位	流行性角結膜炎	0.29 (→)	0.29



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第7週 令和6年2月12日～令和6年2月18日）

分類	疾患	今週報告分（第7週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）									
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計				
全数把握	二類感染症	結核		1	1					2		2	4	1	6	13	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症						1	1			1			1	2	
	四類感染症	レジオネラ症										1			4	5	
	五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症												1		1	2
		急性脳炎												1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症												2	1	2	5
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）												1			1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症												1		1	2
		侵襲性髄膜炎菌感染症														1	1
侵襲性肺炎球菌感染症														1	1	2	
梅毒													1	1	2		
定点把握（48定点）	インフルエンザ／COVID-19定点	インフルエンザ	67	63	211	74	353	768	569	586	1,407	494	2,029	5,085			
		COVID-19	9.57	12.60	16.23	10.57	22.06	16.00									
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	COVID-19	57	41	154	87	121	460	477	406	1,361	550	1,197	3,991			
		RSウイルス感染症	1				2	3	5	1	4		12	22			
	咽頭結膜熱	RSウイルス感染症	0.25				0.20	0.10									
		咽頭結膜熱	6	5	24	1	33	69	29	42	201	9	274	555			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	1.50	1.67	3.00	0.25	3.30	2.38									
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	82	13	46	148	40	65	670	95	393	1,263			
	感染性胃腸炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.00	10.25	3.25	4.60	5.10									
		感染性胃腸炎	21	28	41	33	114	237	139	131	224	190	637	1,321			
	水痘	感染性胃腸炎	5.25	9.33	5.13	8.25	11.40	8.17									
		水痘				1		1	1	4	11	6	22	44			
手足口病	水痘				0.25		0.03										
	手足口病			2		2	4	3	1	19		8	31				
突発性発しん	手足口病			0.25		0.20	0.14										
	突発性発しん			2		1	3	2	4	15	4	6	31				
ヘルパンギーナ	突発性発しん			0.25		0.10	0.10										
	ヘルパンギーナ	2					2	23			1	1	25				
流行性耳下腺炎	ヘルパンギーナ	0.50					0.07										
	流行性耳下腺炎			1	1		2			2	2		4				
眼科定点（7定点）	流行性耳下腺炎			0.13	0.25		0.07										
	眼科定点（7定点）	流行性耳下腺炎	1			1	2	5		5	1	5	16				
基幹定点（5定点）	流行性角結膜炎	1.00			1.00		0.29										
	基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎				1	1				2		2				
入院サーベイランス（5定点）	無菌性髄膜炎				1.00		0.20										
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）		1	2	2	3	8	19	10	24	41	58	152			
	COVID-19による入院患者	2	3	5	8	19	37	25	45	30	38	91	229				

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

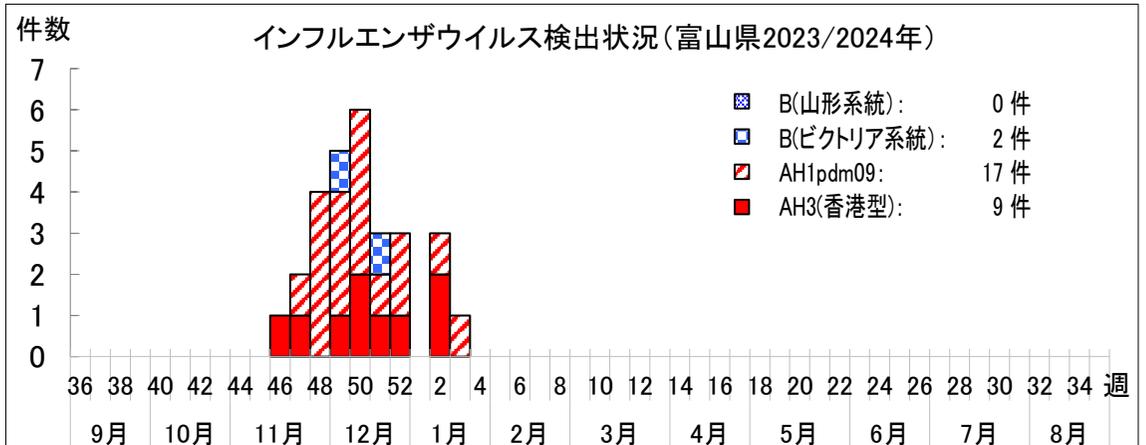
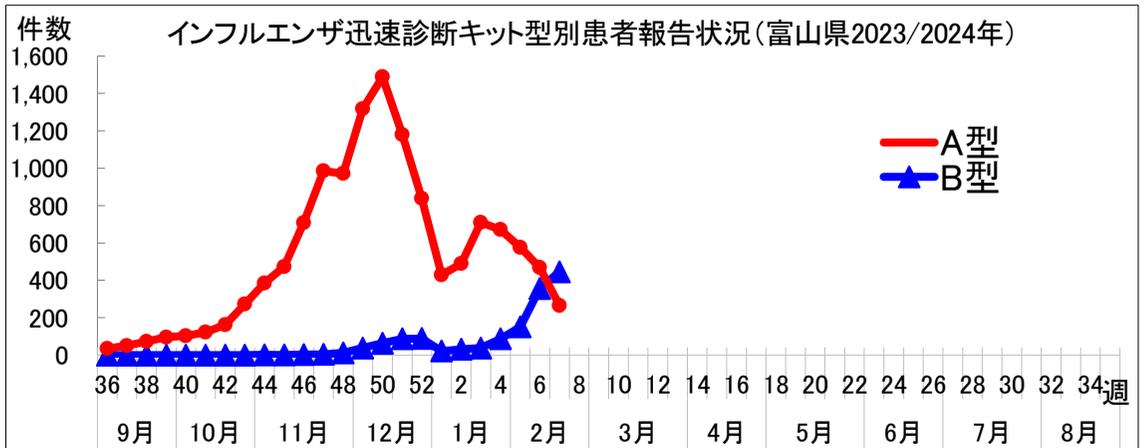
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が34.5%、B型が58.1%となっています。

第7週(2/12~2/18)：富山県 16.00人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	26	41	0	67
中部	5 / 5	12	42	9	63
高岡	12 / 13	128	64	19	211
砺波	7 / 7	44	30	0	74
富山市	15 / 16	55	269	29	353
富山県	44 / 48 ^{※1}	265	446	57	768
富山県累計(2023年36週~)		12,867	1,431	896	15,194

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が44か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





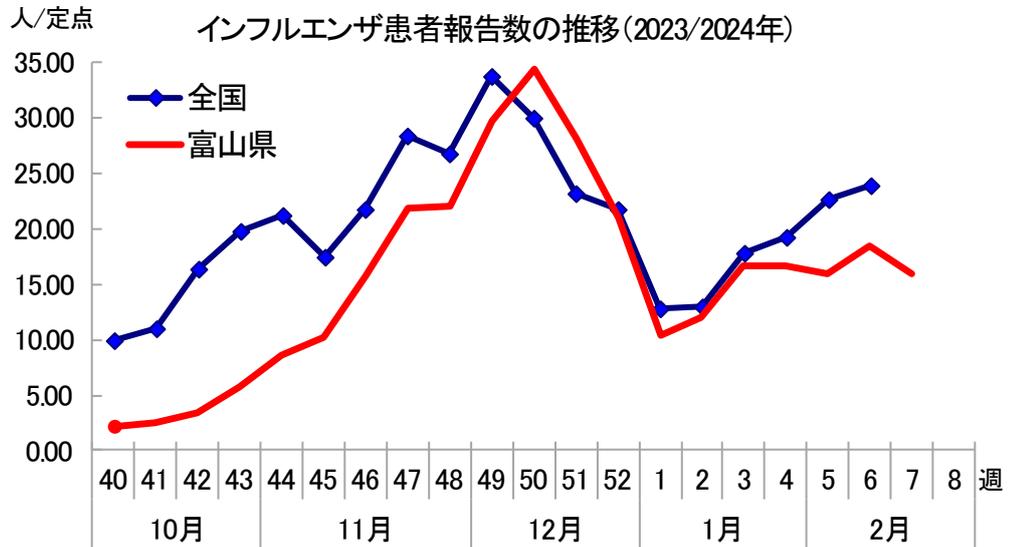
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第7週 (2/12~2/18) : 富山県 16.00 人/定点

新川 HC (9.57)、中部 HC (12.60)、高岡 HC (16.23)、砺波 HC (10.57)、富山市 HC (22.06)

全国の患者報告数は、第6週に23.93人/定点となり、第2週以降増加が継続しています。

県内の患者報告数は、今週16.00人/定点となり、先週から減少しました。

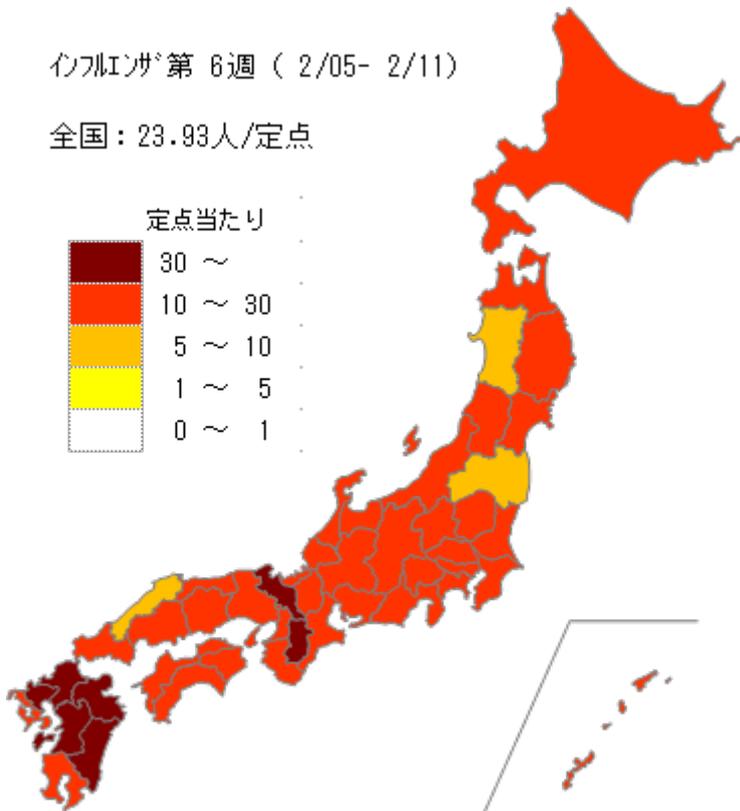
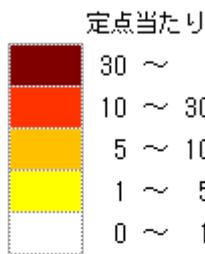


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第6週 (2/5~2/11)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり23.93人となり、前週の22.62人より増加しました。32都道県で前週より増加しています。15府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第6週 (2/05-2/11)

全国: 23.93人/定点



都道府県	人/定点	変化	都道府県	人/定点	変化
北海道	16.76	↑	滋賀県	19.47	↑
青森県	11.14	↑	京都府	30.44	↓
岩手県	15.10	↑	大阪府	29.56	↓
宮城県	25.59	↑	兵庫県	26.67	↑
秋田県	6.72	↓	奈良県	32.58	↑
山形県	17.86	↑	和歌山県	18.84	↓
福島県	8.15	↑	鳥取県	11.83	↑
茨城県	13.64	↓	島根県	8.00	↓
栃木県	13.93	↑	岡山県	18.63	↑
群馬県	16.27	↑	広島県	20.28	↑
埼玉県	29.74	↑	山口県	23.24	↑
千葉県	27.21	↑	徳島県	13.41	↓
東京都	22.83	↑	香川県	10.60	↓
神奈川県	27.78	↑	愛媛県	14.77	↓
新潟県	14.51	↓	高知県	18.55	↑
富山県	18.35	↑	福岡県	56.48	↓
石川県	21.00	↑	佐賀県	38.15	↓
福井県	22.74	↑	長崎県	28.01	↑
山梨県	11.24	↑	熊本県	34.83	↑
長野県	12.43	↑	大分県	34.34	↑
岐阜県	12.30	↑	宮崎県	33.81	↓
静岡県	13.84	↓	鹿児島県	22.73	↑
愛知県	29.55	↑	沖縄県	29.70	↓
三重県	22.47	↑	全国	23.93	↑